



かみのせき 議会だより

2018
10/26

No.144



なんじゃろうか?! (風力発電の資機材搬入始まる)

平成 30 年 9 月定例議会

議 案 専決処分の承認 他	2 ～ 3P
一般質問 (3 名が町の取り組みを問う)	4 ～ 6P
委員会報告	7 ～ 8P
議会日誌	9P
研修会・陳情・編集後記	10P

議案

平成30年第3回定例会は9月11日から20日までの10日間の会期で開かれました。上程された議案は、専決処分の承認2件、平成30年度一般会計および特別会計10会計の歳入歳出補正予算、条例の制定1件、上関町過疎地域自立促進計画（変更）の策定、辺地に係る公共施設の総合整備計画（変更）の策定、教育委員会委員の任命、平成29年度一般会計および特別会計歳入歳出決算の認定、報告3件で、原案のとおり可決、承認された。

※1 専決処分の承認

◆歳入歳出予算の総額に150万円を追加し、総額を32億7150万円とする。

●海区漁業調整委員会委員補欠選挙経費

◆歳入歳出予算の総額に500万円を追加し、総額を32億7650万円とする。

●上関海峡温泉施設修繕工事

一般会計補正予算

◆歳入歳出予算の総額に8億7961万円を追加し、予算の総額を41億5611万円とする。

主な歳入

地方交付税の増額、国庫支出金において災害復旧事業費負担金の増額、県支出金において離島航路補助金、災害復旧事業費補助金の増額。

繰入金において各基金からの繰入金の増・減額、繰越金において前年度決算繰越金の増額、町債において辺地対策事業債、過疎対策事業債および現年発生補助災害復旧事業債の増額、臨時財政対策債の減額などが主なもの。

主な歳出

各費目での人事異動に伴う人件費の増・減額。各特別会計への繰出金の増・減額。商工費において祝島航路待合所建設工事の増額。教育費において城山歴史公園改修工事等の増額、災害復旧費において災害復旧工事費の増額、諸

支出金において風力発電事業特別会計への貸付金の増額などが主なもの。

特別会計補正予算

◆それぞれの会計の歳入において前年度決算繰越金の増額および一般会計からの繰入金の増・減額。歳出においては人事異動に伴う人件費の増・減額。その他、主なものでは、国民健康保険事業特別会計において保険給付費の生産育児一時金の増額。

介護保険特別会計において基金積立金の介護給付費準備基金積立金の増額。風力発電事業特別会計において他会計借入金が増額。

その他

◆上関町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用などに関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定

◆上関町過疎地域自立促進計画（変更）の策定

◆辺地に係る公共施設の総合整備計画（変更）の策定

◆上関町教育委員会委員の任命について、教育委員会委員である「吉崎陽子氏」の任期が本年9月30日をもって満了となるため、新たに「吉本まり子氏」を任命する。



吉本まり子氏

認定

平成29年度上関町一般会計および特別会計歳入歳出決算の認定

監査報告



山村 泰志
監査委員

財政状況について報告・指摘した事項等を申し上げます。

主な財源である地方交付税は減収となったものの寄付金の増収により14・8ポイント増えているが、財政の硬直化を示す^{※2}経常収支比率は1.3ポイント上昇しており、無駄のない財源の有効活用を図る必要がある。

第4次総合計画の重点施策は厳しい財政状況の中、住民サービスの低下や、負担の増額とならないよう苦心している。現在庁舎建設を進めているが、住民が利用しやすい行政の体制の整備も含め検討し、総合計画を確実に執行し、暮らしている方が、住みやすく、住んでよかったと実感できる町を築いていただくことを願い監査報告とします。

健全化判断比率

	比率名	平成 29 年度	早期健全化基準
①	実質赤字比率	—%	15%
②	連結実質赤字比率	—%	20%
③	実質公債費比率 ^{※3}	10.2%	25%
④	将来負担比率	—%	350%

報告

◆第56期上関航運有限会社の事業計画

◆第7期一般財団法人なごみの経営状況

◆平成29年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率



風力発電、仮置き場の様子

※1 専決処分

本来、議会の議決・決定を経なければならぬ事柄について地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理することを行う。

※2 経常収支比率

地方団体の財政構造の弾力性を示すもので、税収など経常一般財源に占める、人件費や公債費などの義務的な支出の割合を表す。

※3 実質公債費比率

実質公債費比率とは、自治体の実質的な借金が財政規模に占める割合のこと。数値が高いほど返済の負担が重いことを示す。平成19年6月に成立した地方自治体財政健全化法では、財政の健全度を診断する4指標の一つで、25%を超えると早期の健全化を求められる。35%を超えると、国が財政再建を管理する。

町政のここが聞きたい

一般質問

9月定例議会では3名の議員が
5件の質問をしました。

問

地域の
防災体制について



清水 敏保 議員

答

避難場所と

今後の取り組み

質問

今年は非常に多くの自然災害が発生している。これから本格的な台風シーズンとなり、高潮・高波対策や大雨による土砂災害等の十分な対策が必要となる。今後は、行政と地域が連携して、各地域に合った防災体制づくりが急務となる。本町の避難場所の整備状況と今後の取り組みを問う。また、避難場所を利用可能な空き家があれば活用しては。

町長答弁

現在、上関町地域防災計画で緊急避難場所は、教育施設、公民館等を中心に30ヶ所余りを指定している。なかには老朽化も進み、補修等が必要な施設もありますので財政状況を考え優先順位を定め取り組んでいく。

また、空き家等の利用については、さまざまな制度等に適合する必要があるため、地域の協力を得ながら検討していく。



指定避難場所（上関小中学校体育館）



山根 善夫 議員

問
人口減少に対する
町の考えは

答
定住できる施策の継続

質問

全国的に地方では人口減少が問題となっている。上関町も例外ではない。現在、定住対策として住宅の建設、子育て世代への支援事業の強化等を行っているが、人口減少傾向は続いている。町の活性化のためには、子育てをする若い世代の力が必要ではないかと考える。一つには外部の力を活用する、つまり移住希望者の受け入れも考えられるが町の考えは。



浜を元気に（祝島漁港）

町長答弁

定住対策のための定住促進住宅は、今後も建設していく計画であり、子育て世代に対してもソフト事業の充実を図り、手厚い支援を継続する。しかし、課題を挙げれば、生活をする上で雇用が必要である。これらのことを克服しながら、バランスのとれた人口構成になれば、町も存続できるし、未来も見えてくるのではないかと考える。

問
北野地区の
ため池について

答
関係者の方の
適切な管理を

質問

ため池は地域農業の維持、振興には欠かせない。以前のため池改修後も漏れは止まらず、荒れた状態が続いている。7月の大雨で祝島でも土砂崩れなど発生した。このためため池には半分位まで水位が上がっていた。この漏れにより新たな落石や土砂災害を誘発するのではと危惧される。今後の農業の維持振興、安全のためにもため池の現状を把握し対応を願いたい。

町長答弁

北野地区のため池は、平成6年度から4年間にわたり改修をして構造物は安定し現在危険ため池の指定は解除になっているが、漏水は止まらず、防止策を模索したが有効な方法が見つからず残念に思っている。7月の記録的な大雨でも災害は発生していないが、ため池は荒廃が進んでおり災害が発生しかねない。北野地区の農業関係者の方々の適切な管理をお願いする。



荒れている北野ため池（祝島）



山戸 孝 議員

問 農業振興のための 新たな仕組みづくりを

答 どのように協議するか
検討が必要

質問

これまで厳しい状況のなかで本町の農業を守り育ててきた先人や現役の農家の方々には深く敬意を表したい。本町の農業が生き残っていくためには消費者や販売者の目線も加え、新たな農産物生産への取り組みや栽培方法、販売方法などを協議、検討する場を作る必要があると考える。また道の駅においても消費者や販売者からの意見を生産者が共有する仕組みが必要では。

町長答弁

農業振興のための協議を重ねていく中で重要なのは生産者や消費者などと違った立場からの意見を活用する場を設けること。既存の協議会で行うか新たな組織を立ち上げて協議していくか検討が必要。道の駅では出荷者協議会を設けており、消費者からの意見や出荷者への指導、助言などの情報の共有を図っている。取り組みをさらに強化していきたい。



道の駅に並ぶ地元農産物

問 よりいっそうの イノシシ対策を

答 粘り強く取り組んでいくことが必要

質問

ここ数年イノシシによる農作物被害が増えている。イノシシなどの有害獣による農作物への被害金額の推移、町が貸し出した箱罠によるイノシシの昨年度捕獲数、箱罠の本年度の購入数と来年度の方向性は。また高齢者に負担の少ない形で防除柵の貸し出しなどはできないか。つい先日にはイノシシが日中に子供たちの通学路でも目撃された。子供たちの安全を守る方策は。

町長答弁



町が貸し出している箱罠

農作物の被害金額は平成25年度は約119万円だが平成29年度は約403万円。昨年度の全捕獲数182頭のうち、箱罠によるものは99頭。箱罠を今年度は12基購入予定で来年度も引き続き導入していきたい。防除柵については農業者の方々への補助をより利用しやすい制度にしていきたいが、高齢者への貸し出しなどは線引きが難しく、今後検討をしていきたい。

教育長答弁

子供たちへの指導に加え、見守り隊や警察、また地域と連携を密にし、安全な登下校の実現を図っていきたい。

常任委員会視察研修報告



総務文教常任委員会
委員長 右田千賀子

長野県喬木村

休日・夜間を活用した議会運営

長野県下伊那郡喬木村は、面積66・61km²、人口6463人2



産業厚生常任委員会
委員長 清水敏保

長野県下條村

健全財政で少子化知らずの「奇跡の村」、長野県の下條村に視察に行ってきました。下條村の人口は3765人で、財政規模も本町とほぼ同じくらいです。税收も乏

152世帯、高齢者人口2204人、高齢化率34・1%です。議員定数は12名。今回の視察研修がなぜ喬木村かと言えば、全国初の「休日・夜間を活用した議会運営」である。この運営は議員のなり手不足解消のために取り組んでおり、イベント的ではなく通年として取り組み、この契機としては、平成29年6月の

議員選挙が無投票であり、新人6名が、兼業農家であったことから原因を分析。人口減少・少子高齢化が進み地域コミュニティが縮小し地区から候補者が立てなくなり危機感をもった。そのため幅広い年齢層の男女が議員として参加し、多様な考えや意見を村政に反映させる事が重要。兼業議員でも議会を目指し、活動しやすい環境づくり、休日・夜間議会は活性化の一つになっています。

喬木村視察の感想

このたびの研修を通じて思ったことは、当町においても年々人口は減少し、そう遠くない時期に喬木村のように、当町に合った議会のあり方を考える時が来ようかと思っています。



しく様々な悪条件に苦しむ典型的な山村の一つでありながら、平成23年合計特殊出生率は約19人で全国平均1・39人を大きく上回っています。どのようにして、健全な財政でいられるのか、具体的に説明して頂きました。

①身の丈に合った公共事業をする。村の条件に合った事業を行う。②村役場の再編と職員の意識改革。職員を民間ホームセンターへ研修派遣させ、スピード感、コスト感覚、仕事量を体感させ、経

営の厳しさを実感させて行政改革を実践していく。③工事費200万円以下の小規模な道路や水路などの整備・改修を村が資材を供給し、工事は村民自身で実施する建設資材支給事業を展開。効果として、コストが安く上がり、共有の愛着が湧き、地域のまとまりや交流の輪が広がったそうです。ごく当たり前のことを実施して成功した村と思われます。上関町の場合、豊かな自然と歴史・文化を活用して交流人口をもっと増

やし、親しみやすく親切な人柄を活かした、上関町ならではの観光開発を展開してはいかがでしょうか。今回の視察は、本町に参考になる事が多く大変有意義な視察研修になりました。



研修報告



町議会広報クリニク

議会広報広聴調査特別委員会

委員長 岩木和美

7月10日に東京都千代田区の
全国町村議員会館で行われた町
村議会広報研修会に広報委員が
参加しました。

「月刊総務」編集長の豊田健一
氏から「読者目線で親切な広報
紙を作るには」手にとられ、
読まれ、行動に結びつけるには
と題して講義を受けました。
「昨日、皆さんの所に移住して来
た人が議会広報紙を見てどこま

でわかりますか？読みきれま
すか？」広報紙を読んでくれた、ペ
ージをめくってくれたと第一歩
のきっかけとなれば、つねに読
み手がいると言われた講師の言
葉がとても印象的でした。

9町村のクリニクでは、言
語・文章は住民目線で、ていね
いな解説・難しい用語には注釈
が必要、文字の大きさ・書体な
どの指導があり、とても勉強に
なりました。

今回の研修で学んだ事を活か
し、これからも親しみやすく読
んでいただける「議会だより」を
作成していきたいと思えます。



Pick UP

ハザードマップは お手元にありますか

3月に町から上関町全戸に災
害ハザードマップが配布されま
した。災害時の緊急連絡先、避
難場所、日頃からの備え等がわ
かりやすく記載されています。
また、わが家の防災メモとし
ての記入をするページもありま
す。災害に備えて各ご家庭で話
し合ってみてはいかがでしょうか。



配布された 災害ハザードマップ

上関小学校で行われた 「昔の遊び」の様子



紙飛行機 どうやって作るの？



どこまで飛ぶかな

議 会 日 誌

(6月12日～9月3日)

月	日	件 名	開 催 場 所	月	日	件 名	開 催 場 所
6	12	第2回定例会本会議・全員協議会	議場		23	議会広報委員会	議員控室
	15	産業厚生常任委員会	議場		23	柳井地区広域市町議会議員研修会	柳井市
	15	総務文教常任委員会	議場		25	例月出納検査	議員控室
	19	第2回定例会本会議	議場		25	決算審査	議員控室
	20	第2回定例会本会議	議場		26	両常任委員会視察研修	長野県下條村・喬木村
	20	議会運営委員会	会議室		27	両常任委員会視察研修	長野県下條村・喬木村
	22	県東部高速交通体系整備促進協議会総会	柳井市		28	両常任委員会視察研修	長野県下條村・喬木村
	26	例月出納検査	議員控室	8	1	熊毛郡議会広報連絡協議会定期総会	平生町
	28	山口県離島振興市町議会議長会視察研修	愛知県南知多町		3	地域ぐるみの防災キャンプ	小中体育館
	29	山口県離島振興市町議会議長会視察研修	愛知県南知多町		4	地域ぐるみの防災キャンプ	小中体育館
	29	定期監査打合せ	議員控室		6	決算審査	議員控室
7	2	教育委員会定期監査	福祉センター		7	柳井地域広域水道企業団議会臨時会	柳井市
	2	上関小・上関中定期監査	上関小・上関中		8	熊毛郡町議会議長会定例会	平生町
	4	土木建築課定期監査	分庁舎		9	決算審査	議員控室
	4	産業観光課定期監査	分庁舎		10	中学生議会打合せ	上関中学校
	9	生活環境課定期監査	分庁舎		15	上関町成人式	総合文化センター
	9	社会を明るくする運動大会	総合文化センター		20	山口県町議会議長会研修視察	千葉県長生村
	10	町村議会広報クリニック	東京都		21	山口県町議会議長会研修視察	千葉県東庄町
	10	高齢者保健福祉センター定期監査	高齢者保健福祉センター		22	山口県町議会議長会研修視察	全国町村議員会館
	10	保健福祉課定期監査	保健センター		23	人権学習講座	総合文化センター
	11	議会広報委員会	議員控室		24	財政健全化審査	議員控室
	11	総合企画課定期監査	議員控室		24	決算審査	議員控室
	11	出納室・議会事務局定期監査	議員控室		27	例月出納検査	議員控室
	12	総務課定期監査	議員控室		27	決算審査報告	町長室
	18	議会広報委員会	議員控室		28	山口県町議会実務研修会	田布施町
	19	柳井地区広域消防組合議会臨時会	柳井市		29	中学生海外派遣帰国報告会	総合文化センター
	20	議会広報委員会	議員控室	9	3	議会運営委員会	会議室

柳井地区広域市町議会 議員研修会

7月23日、柳井市で「減災・防災 今やるべきこと」を演題として清水国明先生を講師に招き研修しました。アメリカでは災害等の仮設住宅としてトレーラーハウスが活用されている事例などの説明があり、日本でも活用していくよう提案などをしていただきました。



熊毛郡議会広報 連絡協議会定期総会

8月1日、平生町役場で熊毛郡3町の広報正・副委員長、事務局長が「平成29年度事業報告・決算」「平成30年度事業計画・予算」について協議した後、情報交換を行いました。

今年の研修は、10月に平生町において広報委員による他町の広報紙を参考に研修することになりました。



山口県町議会 実務研修会



8月28日、田布施町で「計画・予算への議会の取り組み」を演題として、同志社大学大学院教授の新川達郎氏が、今後の地方議会のあり方として、政策過程への議会の関与を始めとして、計画・予算・条例・予算執行への関与拡大を図るよう講義を受けました。

陳情

◆臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情
移植ツーリズムを考える会
理事 井田 敏美

編集後記

秋冷が爽快に感じられるいい季節を迎えました。

暑さ寒さも彼岸まで、と昔から言われるようにお彼岸も過ぎ朝・夕はめっきり涼しくなりました。

各地で秋のイベントが開催されますが、町内では11月3日に『愛・ランドフェア』11月18日に『朝鮮通信使上関到来まつり』を予定しております。

皆様奮ってのご参加をお待ちしております。

食欲の秋・スポーツの秋・読書の秋・芸術の秋といろいろな秋がありますが、それぞれの秋を満喫してください。

聴取委員会 広報広聴特別調査

委員長	岩木 和美
副委員長	海下竜一郎
委員	井原 久治
〃	右田千賀子
〃	山戸 孝

次回定例会の初日は
12月5日(水)の予定です。

発行責任者／議会議長 西 哲夫

〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 503

TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-0783

編集／議会広報広聴調査特別委員会

印刷所／中村印刷株式会社